

福生の良き伝統を守ろう

私は、この3月市議会での審議を通して、このままでは、これまでの歴代の福生市政が築き上げてきた福生市の良さが失われていくのではないかと危惧しています。

福生市の良さは・・・

福生市の良さは何でしょうか。多摩の山並みを背景に多摩川の清流が流れる豊かな自然ではありません。戦後すぐに産声を上げた福生青年団、ふっさっ子、あかざの活動にまでさかのぼります。若者を中心にした文化芸術活動・自治活動は大変活発で、そうした市民（町民）の熱い思いに支えられて、歴代の福生市政では、社会教育に力を入れ、市民会館、公民館3つ、地域会館9つ、図書館4つ、体育館3つ、野球場、競技場、プール等々、市民活動を支える数々の公共施設を充実させてきました。おかげで、今では200を超える公民館サークル、27競技4000人を擁する体育協会、その他多くの個人・団体が活発に文化・芸術・スポーツ活動を展開しています。

インフラ整備も充実しています。下水道整備は西多摩でいち早く100%を達成しています。公園も多く、大小75の公園を整備し、ほとんどの公園にトイレも備えています。こうした公共施設・インフラの充実は、横田基地由来の様々な被害がありつつも、福生市の大きな魅力になっているのではないのでしょうか。

公共施設を20%も削減する計画が

しかし、福生市は平成29年に公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設の20%削減を打ち出しました。理由は、市民一人当たりの公共施設の延べ床面積が、東京26市平均より20%広いからと説明しています。

しかし、20%広いのは、先に見たように、活発な市民活動を保証してきた福生市の良さであり、魅力であり、歴代の市長、職員、市民の努力のたまものであったはず。このことを忘れて、20%削減することは、福生の良き伝統の放棄であり、福生市を特徴のない平均的な街にすることを意味します。《裏ページへ続く》



廃止予定の市民会館大ホール



福生駅西口複合施設に
集約予定の中央体育館

日本共産党 福生市議会議員

いけだ こうぞう

池田公三

がご相談に応じます。

日時は、お電話いただければ、調整いたします。



日本共産党
福生市議団ニュース

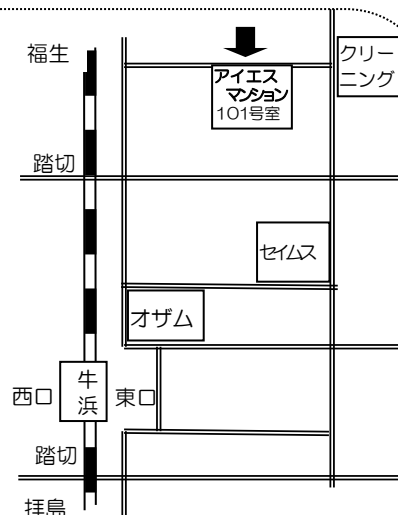
福生市議 池田公三
☎ 090-7946-5137
2021年 6月 号外

なんでも生活相談

6月のなんでも生活相談会のお知らせです。日々の生活で困っているのに、誰にも相談できずにいる方はいらっしゃいませんか。どうぞお気軽にご相談ください。

日時 7月14日（水）午後7時から

場所 池田公三事務所（駐車場あります）
福生市志茂115 アイエスマンション101号室
Tel 042-530-0705



市民会館大ホールの廃止、市営プールの廃止（小学校プールとの共用プール化。50mプール、幼児用プールがなくなる？）、北田園地区の中央体育館の廃止（複合施設に文化芸術用途との重ね使いをする多目的ホールとして集約）など、今、明らかにされている削減予定だけでも、市民の音楽・文化・芸術・スポーツ活動や鑑賞に大きな影響を及ぼすでしょう。さらに、公共施設20%削減のためには、他にもたくさん削減されることになります。



公共施設を維持する財源はあります

市は、公共施設を削減するもう一つの理由として財源不足をあげています。しかし、必要な公共施設については長寿命化工事を行うことで、向こう20年間の公共施設維持経費は、これまでとほぼ変わらないことが明らかになっています。そして、20年後の更新（建て替え）時まで、計画的に資金を積み立てることが可能ですし、すでに80億円を超す積立金もあります。市債の発行残高も少なく、十分余裕のある市債を発行することもできます。また、国の各種補助金の適切な活用も当然あり、公共施設を削減せずに維持していく財源対策は十分可能です。

一方で、新たな大型再開発計画が

市は、既存の公共施設を維持していく財源がないと言いながら、一方では、福生駅西口地区に大型公共施設の新規建設を計画しています。これは、同地区に大型商業施設、高層共同住宅を計画する福生駅西口地区市街地再開発準備組合の要請に応じて、福生市が支援し、さらに、同地区に複合公共施設を建設することで、駅前の賑わいを取り戻す計画です。周辺道路の整備を含め、100億円を超える超大型公共事業です。駅前に新たな複合公共施設ができれば、一層活発な市民活動につながる可能性もありますが、リスクのある計画でもあります。「駅前に賑わいを」との大型再開発が、想定したほどに人が集まらず、維持経費も含めて大きな財政負担をもたらした失敗例は全国にたくさんあります。人口5万人クラスの自治体で、これほど大きな複合公共施設が機能するのか、十分な調査・検討が必要です。



福生市の良さを守るために

この大型再開発計画と引き換えに、市民のための充実の公共施設を削減することは、福生市の良さを捨て去ることであり、本末転倒です。真にこの再開発計画を成功させるためには、市は市民にとって必要な公共施設削減を前提としない財源計画を示すべきです。しかし、3月に示された福生市個別施設計画では、学校、市民会館、体育館、市営プール、保健センターなどの廃止、縮小、複合化が示されています。見直しが必要です。福生の良き伝統を守ることを心から願うものです。

そして、もう一点付言するなら、子どもからお年寄りまで、市民誰もが、どこに住んでいても、この福生駅西口地区公共施設にアクセスできるようにすることは、最低必要条件です。私が従来から繰り返し要望している市内循環バスの整備が不可欠です。市は福祉バスがあるから市内循環バスは必要ないと回答していますが、福祉バスはその運行目的から、駅や公共施設にアクセスできないし、そもそも一般市民は乗れないのです。これでは福生駅西口地区公共施設は一部の市民しか利用できない施設になるし、駅前の賑わいも実現できないと思います。